

新型コロナウイルス感染症 (2023年1月4日 13:00現在 暫定値)

※2022年第38週からは感染症法第12条に基づく届出と全数報告をHER-SYSデータで集計

【2022年第52週 (12月26日~2023年1月1日)】

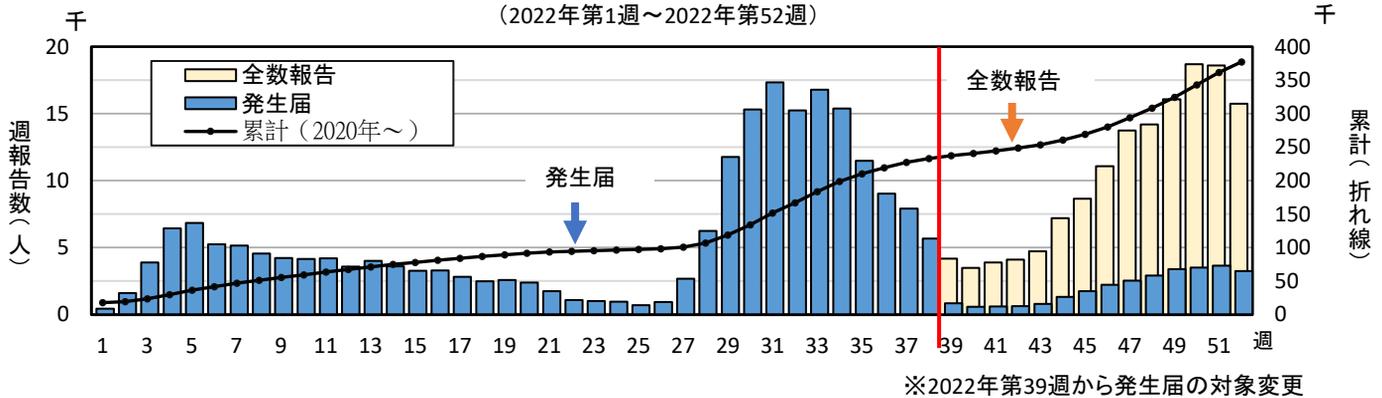
※第52週は医療機関の年末年始の休診により、患者報告の動向は参考値となります。

- ◆ 発生届は3,253件で、第51週 (3,654件) から減少しました。87.1% が65歳以上でした。
- ◆ 全数報告は15,754件で、第51週 (18,602件) から減少しました。11.8% が健康フォローアップセンターからの報告 (自己検査陽性) でした。

発生届対象者 (2022年9月26日から)

- 65歳以上の者
 - 入院を要する者
 - 重症化リスクがあり、かつ、次のいずれかに該当する者
 - 新型コロナウイルス治療薬の投与が必要
 - 新型コロナウイルス罹患により新たに酸素投与が必要
 - 妊婦
- ※発生届対象者も全数報告 (日次報告) に含まれます。

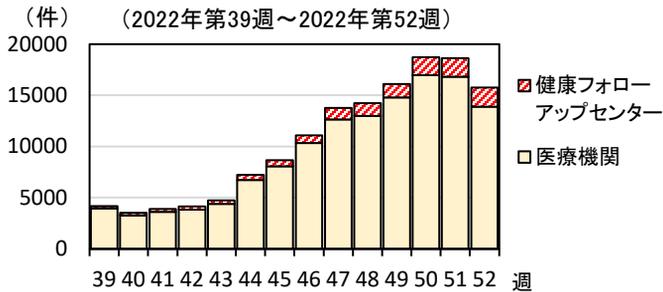
新型コロナウイルス感染症報告数の推移と累計 (2022年第1週~2022年第52週)



※2022年第39週から発生届の対象変更

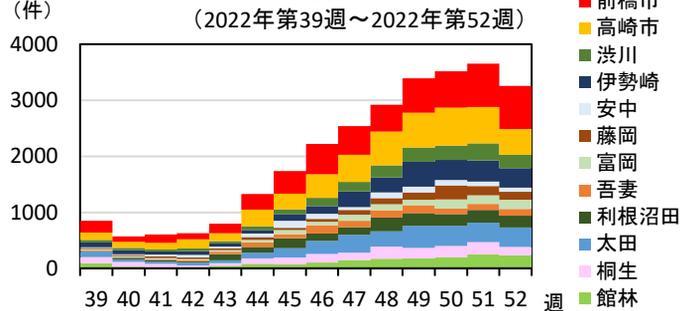
全数報告件数

(2022年第39週~2022年第52週)



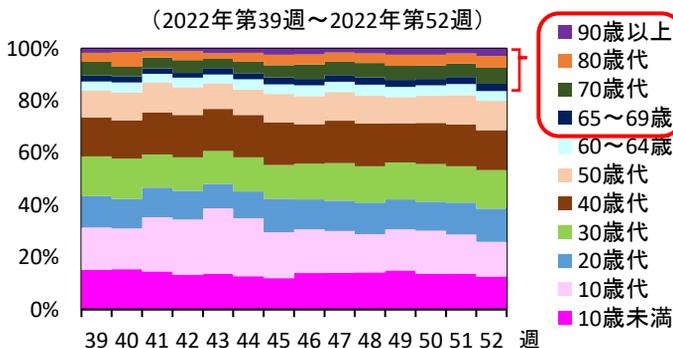
保健所別件数

(2022年第39週~2022年第52週)



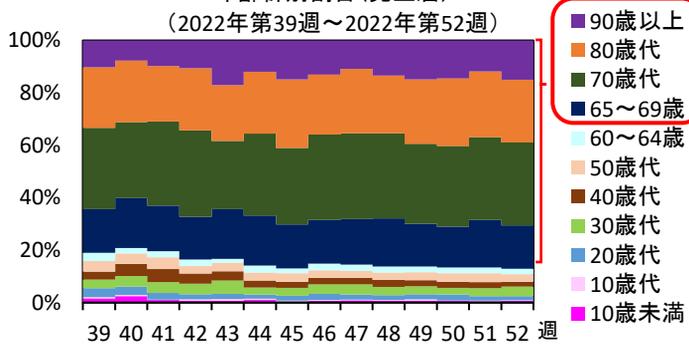
全数報告年齢群別割合

(2022年第39週~2022年第52週)



年齢群別割合 (発生届)

(2022年第39週~2022年第52週)



*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター (群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について(Vol.27)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2022年第50週(12月12日～18日)まで)

県内では、2021年第48週(11月29日～12月5日)以降、デルタ株 AY.29 の再流行がありましたが、オミクロン株が第50週(12月13日～19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日～9日)以降、BA.1 が主な流行となりました。

第2週(1月10日～16日)に渡航歴のある患者から BA.2 も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。2022年第9週(2月28日～3月6日)以降、BA.2 の検出が増加し、主な流行となりました。第25週(6月20日～26日)以降、新たに BA.5 が検出され、第30週(7月25日～31日)に BA.4 が検出されましたが、現在も BA.5 による流行が継続しています。

また BA.2.75.3(BA.2 系統)が第38週(9月19日～25日)以降、BQ1.1(BA.5 系統)が第44週(10月31日～11月6日)以降、XBB.1(BA.2 系統:組換え体)が第49週(12月5日～11日)に検出されており、引き続きゲノム解析による流行の把握が重要と思われます。

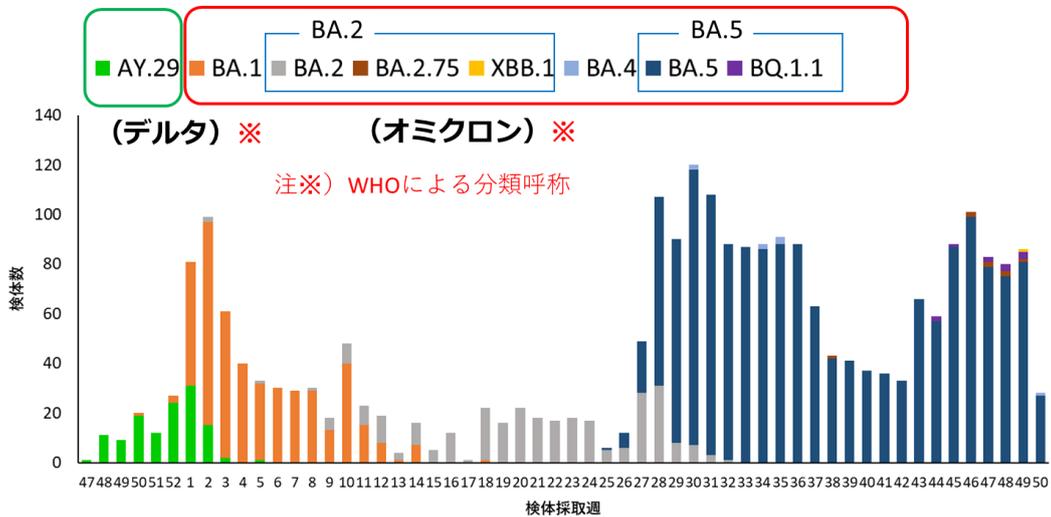


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

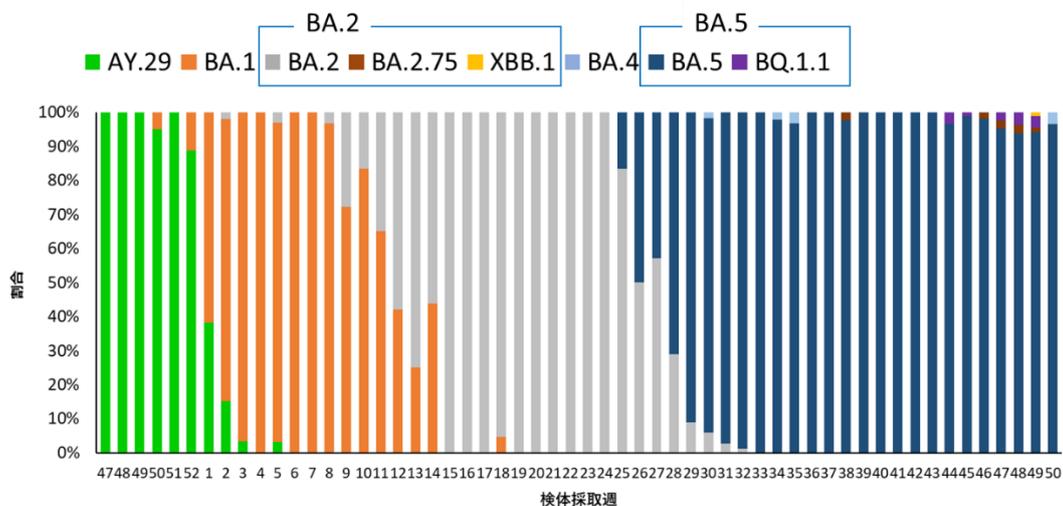


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合)【群馬県衛生環境研究所実施分】